

委員会等の会議録

1 会議名	愛南町食育推進協議会	
2 議題	(1) 令和4年度の活動状況及び令和5年度の活動内容について (2) 愛南町食育推進大会について (3) 愛なん食育レシピ集について (4) 愛南町食育評価アンケートについて (5) その他	
3 開催日時	令和5年8月22日(火) 13時30分から15時10分まで	
4 開催場所	愛南町役場 3階 大会議室	
5 傍聴者数	1人	
出席者		
6 委員氏名	若林 良和、岡本 威明、間々田 理彦、田中 洋子、浅海 裕紀、 吉田 弥生、小林 絹代、武久 時子、森岡 知昭、井上 浩、 湯浅 良彦、森岡 眞由美、埜下 征男、田中 俊行、坂本 好人、 立花 弘樹、竹田 英則、高橋 信吉、坂尾 良美、木原 荘二、 児島 秀之	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 清水 緩美 課長補佐 好岡 美智子
8 その他の 出席職員	所属名	保健福祉課、城辺保育所、農業支援センター
	出席職員 (職・氏名)	課長補佐 山本 和恵(保健福祉課) 課長補佐 福島 みき(城辺保育所) 課長補佐 岸本 貴士(農業支援センター)
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
中川課長	<p>定刻になりましたので、ただ今から令和5年度愛南町食育推進協議会を開催します。</p> <p>開会に当たり、当協議会の浅海会長が御挨拶申し上げます。</p>
浅海会長	<p>(開会挨拶)</p>
中川課長	<p>ありがとうございました。申し遅れましたが、私は保健福祉課の中川でございます。協議事項に移るまでの進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>この協議会の協議内容については、事業の内容を多くの方々に理解していただくため、協議録をホームページで公開しています。会議の内容を録音させていただきますので、御了承いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、委員の皆様には自己紹介をお願いできればと思います。お手元の名簿を御覧いただき、若林委員から反時計回りに所属とお名前をお伝えいただけましたらと思います。それでは、若林委員から順次よろしくお願いいたします。</p>
各委員	<p>(自己紹介)</p>
中川課長	<p>これからの協議は、会長に進めていただきます。浅海会長、よろしくお願いいたします。</p>
浅海会長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>「(1) 令和4年度の活動状況及び令和5年度の活動内容」について協議します。重点取組については、実践部隊である食育協働部会の方で様々な活動を実施していますので、説明していただきます。これらについての御意見、御質問に関しては、全ての説明が終わった後にさせていただきます。</p> <p>まずは、令和4年度の取組について、健康部会から説明をお願いします。</p>
山本課長補佐	<p>(健康部会の活動状況について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室や広報あいなん「食育アカデミー」等で情報提供 ・事業所等に「見える化ポスター」による啓発 ・健康情報をCATVや健診会場で周知 ・高校生のひとり立ちサポート教室で積極的な学習

<p>浅海会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品や郷土料理の普及 <p>次に教育部会に移ります。教育部会の説明をお願いします。</p>
<p>福島課長補佐</p>	<p>(教育部会の活動状況について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年代に合った食育指導 ・コミュニティースクールで食育や生活習慣づくりを発信 ・給食を通して食事マナーの指導 ・食育指定校(平城小学校)の研究を推進大会と併せて進め、正しい知識の啓発。中間発表としてパネルによる発表 ・校内放送を効果的に活用し、給食食材等について情報提供
<p>浅海会長</p>	<p>次に産業部会に移ります。産業部会の説明をお願いします。</p>
<p>岸本課長補佐</p>	<p>(産業部会の活動状況について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗配布事業を通じ子供たちの食育力アップ ・SNS等を使用した情報発信、給食教育や農業体験を通じて子供たちに食への関心を高めた。 ・愛南マラニックで郷土料理や地場産品をPR ・町外のイベント等で、ぎょレンジャーやなーしくんを活用し、愛南町の認知度向上及び特産品をPR
<p>浅海会長</p>	<p>続いて、令和5年度の取組について、健康部会から説明をお願いします。</p>
<p>山本課長補佐</p>	<p>(健康部会から活動説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した健康教室。広報あいなん「食育アカデミー」や見える化ポスター、CATV等を活用し、情報発信。肥満傾向にある子供に関して関係機関と情報共有 ・育児相談や子供の食育教室等で、早寝早起き朝御飯の普及啓発 ・広報、CATV、愛南町のラインを活用し、愛南はつらつ口腔体操の普及
<p>浅海会長</p>	<p>次に教育部会に移ります。教育部会の説明をお願いします。</p>
<p>福島課長補佐</p>	<p>(教育部会の活動説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターでは、食育月間中にICTを活用した資料

	<p>提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平城小学校では毎週食育だよりを発行 ・栽培活動、教職員も含めた全校児童生徒おにぎり弁当の日の実施。それに向けたおにぎり教室を実施。すくすくカードによる児童生徒の健康状態チェックや健康調査を実施 ・保育所では、食育指導や保育支援システム、「キッズビューー」を活用した情報発信
<p>浅海会長</p>	<p>次に産業部会に移ります。産業部会の説明をお願いします。</p>
<p>岸本課長補佐</p>	<p>(産業部会の活動説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型学習で食への感謝の気持ちを高める。 ・市場や漁場見学の支援 ・グリーン・ツーリズムによる体験型教室 ・愛南マラニック等で愛南町産の特産品をPR ・ぎょレンジャーやなーしくんを活用した愛南町の特産品のPR ・愛南町の姉妹都市である丹波篠山市で物販イベントに参加。丹波篠山市の学校給食で愛南ゴールドを提供
<p>浅海会長</p>	<p>全部会の説明が終わりました。アドバイザーの委員よりそれぞれの取組や成果に関する補足や御意見等がありましたらお願いします。</p> <p>健康部会の田中委員をお願いします。</p>
<p>田中委員</p>	<p>健康部会のアドバイザーをしている田中と申します。どうぞよろしくをお願いします。健康部会は非常に課題が多く、どうやったら良いかなというところです。愛媛県全体の心不全の死亡率で女性が全国1位、男性も全国で2位です。この心不全に関連して高血圧、糖尿病、脂質異常症のメタボ予防を引き続き取り組んでいきたいです。愛南町の健診の血液検査では、やはり中性脂肪が県内1位となっています。会の前に担当者と少しお話しましたが、砂糖の使用量や酒量が原因ではないかと思います。適正飲酒の情報発信やお砂糖に関しては、WHOでは一人当たりの1日の適量が大体25グラムまでが望ましいといわれています。25グラムはどれぐらいかという、大さじ2杯です。こちらの赤飯はすごく甘いと聞きました。見える化ポスター等を活用して認識付けしてはどうでしょうか。それと、就寝</p>

	<p>時間を早くすることで朝食を食べることに繋がります。スポーツ庁から発表されている小学校5年生の男の子のデータで朝食を食べない子供が、愛媛県は全国で5番目に多いということです。朝食を食べないことと学力・体力との相関図が示されています。7月末に文部科学省から全国学力テストの結果が公表され、案の定、愛媛県は全国総合順位、小学校18位、中学校24位となり、過去最低の順位になっています。やはり朝食の欠食状況が成績や体力とのデータで現れており、ここからも取り組んでいけたらと思います。</p>
浅海会長	<p>ありがとうございました。ペットボトルの中に角砂糖が何個入っているかとか、角砂糖と良い物も今の子は分からないのですよ。なので、実際にペットボトルに砂糖を入れて見せるのは、分かりやすいです。スポーツ飲料1本当たり大体25グラムぐらい入っています。</p> <p>それでは、教育部会の岡本先生、御意見お願いします。</p>
岡本委員	<p>はい。それぞれの部会で積極的に取り組まれていると思います。教育分野については、一昨年度と昨年度と比較しても非常に積極的に取り組まれています。</p> <p>資料9ページ、他の国の料理を給食に取り入れています。給食に和食のみならず、他の国の料理を提供し理解させることは非常に良いことだと思います。また塩の代わりにスパイスを使うことは減塩にも繋がります。資料7ページ、お弁当の事業の取組についてですが、長らく活動されてきて教育法ができています。高校のひとり立ちサポート教室について、具体的にどういふふうな内容か教えていただきたいと思います。</p>
清水課長補佐	<p>失礼します。毎年行っている事業です。昨年度に関しては食品ロスをテーマに、経済的な面等いろいろなことを考慮して行いました。調理実習は、キャベツを使った料理を一つのフライパンでできる献立ということで、ポトフ、焼きそば、お好み焼きを作っていただきました。今年度は、更に広げて授業をしたいと思っています。子供が考える授業ができたらいいます。子供がどのように考えてまとめるかということで、授業のもっていき方を先生方からお力添えをお願いしようと考えていますので、御協力の程よろしくお願いします。</p>

岡本委員	<p>ありがとうございます。自立に向けたところと食ロスというSDGs関連の取組と、両方をかけ合わせた内容ですね。</p>
清水課長補佐	<p>はい。そうです。必ずしも食だけではなく、食は生活の一部なので、そこの生きる力がすごく大事になります。また、選択する力もすごく重要です。そういったところを踏まえ、卒業したら自分のことは自分で考えないといけない、また、いろいろなものから選択する力、その選択の良し悪しで体も変わると、将来を見据え子供たちに問いかけながら授業をしていきたいと思います。</p>
岡本委員	<p>食品の選択能力が非常に大事で、そこで食を選ぶ際に食品添加物の存在とかそういうものを把握します。大学生においても、無塩せきハムは塩が入っていないのではないかと感じている学生もいっぱいいます。ちょっと違った見方なので、それを食育の取組で行うと発色剤等についても理解していったらいいかなと思います。</p>
浅海会長	<p>はい。どうもありがとうございました。次に産業部会の間々田委員、御意見をお願いします。</p>
間々田委員	<p>間々田でございます。よろしく申し上げます。この産業と新型コロナを踏まえ、本格的な人流、交流が始まりました。愛南町においては、大型宿泊施設が閉鎖されたことは交流において非常に重要なところかなと思います。そんな中で、愛南にないといけない交流、あるいは愛南町以外の交流という二つの両輪が産業部会の所になります。コロナ禍の中でも交流がなされて、この継続性が今に繋がっているというふうに理解しています。様々な取組がなされている中で、愛南町の食の豊かさとか愛南町が提供する素材があります。愛南町産は松山でも有名であり、メジャーな施設ありますけども、それ以外にもいろいろ提供できるものがあると思います。例えば資料7ページにおいて愛南町産夏野菜カレーを商品化メニューと考えても良いのではないのでしょうか。それを愛南町内のいろいろなレストランや食堂で提供して、統一感を持たせた取組をしてはどうでしょうか。いろいろとクリアしないといけないことはありますが、取組を考えてみることは重要だと思います。</p>

浅海会長	<p>ありがとうございました。若林委員、全体について御意見を申し上げます。</p>
若林委員	<p>まず、総論的なお話を二つほどさせていただきます。一つ目は令和4年度の取組についてです。コロナ禍の最後の方だったとはいえ、内容的に愚直なまでに、実直に丁寧な取組を可能なところでコツコツと取り組み、実践をしていただいたのではないかと思います。三つの部会に敬意を表したいというふうに思っています。継続は力なりというところで、令和5年度も愛南らしくやっていただくというのが一番良いのではないかなと思えました。その状況の中、事務局を中心にいろいろなことや新たな取組もしていただいていると思ひ、感心をしています。二つ目は令和5年度の取組で、先生方や委員の皆さん方もお気づきかと思いますが、資料17ページ以降で一番左側のところに絵文字が入っています。この食育ピクトグラムは、農水省で昨年度から食育のことをこの絵を見ただけで分かりやすく作りました。全部で12個になり、この取組はこれに当たりますよということを標記しています。是非各部会ごとで、あるいは今日お集まりの関係の団体の皆様には、いろいろな機会を通じて説明いただけたらと思います。事務局で一覧表を1枚つけておくと、更に分かりやすかったと思います。それから、全部で12項目ありますが、なかったのは1番「みんなで食べよう」です。多分どこか当てはまると思います。それから6番「手を洗おう」、それから7番「災害にそなえよう」でした。この三つを別のところで説明を付けたらいいです。愛南町の食育推進では全部を取り組んでいると思いますから。令和5年度は、令和4年度を踏まえて、今日、御提案いただいている各部会のアドバイザーの先生方から助言をいただきながら今年度も引き続きお願いしたいと思ひます。いろいろなお立場の委員の方にお集まりいただいているので、御協力いただきたいです。食育のピクトグラムも含めて普及啓発をお願いしたいと思ひます。以上です。ありがとうございます。</p>
岡本委員	<p>ちょっといいですか。</p>
浅海会長	<p>はい、お願いします。</p>
岡本委員	<p>7番の災害にそなえようというところで、防災食で今よくやることはパッキングです。ポリ袋の中に、材料を入れて熱</p>

	<p>湯の中につける調理法です。このパッククッキングを取組の中に入れてはどうでしょうか。そうすると7番も押さえられます。</p>
<p>浅海会長</p>	<p>委員の皆さんで取組などについて御意見、御質問ありませんか。</p>
<p>竹田委員</p>	<p>ちょっといいですか。朝の欠食について、親との関係はどのようなのでしょうか。親が朝食を食べないのではないかと思います。私を感じる事として、今の30代から40代は結構朝飯を食べないのですよね。だからその影響で子供さんも食べないのだと思います。子供に話すよりまず親に話して、親が食べるようにした方が近道ではないでしょうか。30代、40代とかと一緒に旅行に行っても朝飯を食べない、どうして食べないかと聞くと、いつも食べないからと言います。朝飯を食べないでよく体が保てるなどと思いますが、子供より親に対応する方が良いと思いますが、どう思われますか。</p>
<p>田中委員</p>	<p>確かに親が朝食を食べないところは子供も食べません。親の家庭の食に関する問題もあります。朝食を食べる大切さもありますが、共食の大切さもありません。子供だけ食べさせるのではなく、一緒に食べることで「いただきます」の挨拶であるとか一緒に食べる人に悪い思いをさせないとか、きちんとお箸を持つという食事のマナーが身につきます。一緒に食事をする事でそういう教育もできてくるので、やはり、家庭丸ごと朝食を食べる習慣付けは大事だと思います。</p>
<p>若林委員</p>	<p>ピクトグラムのところ、1番「みんなで食べよう」は、今年度の取組でちょっと意識的に健康部会、教育部会で考えてもらったと思います。その中で修正するところは修正してもらって、食べる前に手を洗おうを入れるなど、この一覧表を取り入れます。また、先ほどの先生方の意見も踏まえ、最終的なところは協働部会で検討してもらいます。</p>
<p>浅海会長</p>	<p>その他、ありませんか。では、ないようなので、続きまして「(2) 愛南町食育推進大会について」「(3) 愛なん食育レシピ集について」「(4) 愛南町食育評価アンケートについて」を協議します。御意見、御質問などに関しては、説明が終わった後にさせていただきます。それでは、説明をお願いします。</p>

清水課長補佐

まず、食育推進大会について資料は 27 ページからです。愛南町では、健康・教育・産業分野の食育に関わる関係機関が連携を図りながら食育推進に取り組んでおり、その取組の一つとして、毎年、食育推進大会を開催しています。昨年度の第 12 回大会は、令和 5 年 1 月 21 日土曜日に御荘文化センターで「豊かな地域で考え、取り組む持続可能な食育」をテーマに、担当の産業部会からの事例発表と「やのひろみ」さんにより「笑顔の種まき」と題した講演を行いました。会場では、令和 4 年度と令和 5 年度の食育指定校である平城小学校や各部会からパネルなどで取組を紹介したり、食育啓発も行いました。28、29 ページはアンケート集計をのせています。30 ページを御覧ください。第 13 回になる今年度は、食育推進指定校での開催となります。令和 6 年 1 月 28 日日曜日 9 時 30 から開始し、テーマを「地域とともに豊かな心と体づくり 自ら考え、取り組む食育」とし、平城小学校食育推進事業成果発表や講師に管理栄養士の大田美香さんを迎えての食育講演です。また、パネル展示で活動の紹介なども行う予定です。

続いて、愛なん食育レシピ集についてです。資料 32 ページを御覧ください。町では、第 3 次愛南町食推進計画の基本方針の一つ「つながる食育」から、町内の人と人、人と産業、産業と産業がつながり、地域力を高める食育活動に取り組んでいます。そこで、愛南町の郷土料理を掘り起こすため、町民から大切に残したい愛南町の郷土料理をアンケート調査し、料理にまつわる歴史や文化そしてレシピをまとめました。今日の資料はその一部ですが、このレシピ集は、アンケート結果と 15 品目のレシピを紹介しています。資料に記入漏れがあります。郷土料理に関するアンケート結果で「大切に残したい郷土料理ベスト 10 の 1 位は冷や汁です。「知っている郷土料理」と「大切に残したい郷土料理」ベスト 10 について、「知っている郷土料理」の 9 位のフカの湯ざらしは麦味噌を付けて食べることから、どちらもほぼ同様の献立があがりました。また、「愛南町ならではの料理」については、特産品である愛南ゴールドや鯛、かつおやヒオウギ貝の料理が上がっています。レシピ集作成に当たり、愛南町の一部の地域の方々ではありましたが、聞き取りを行いました。今日来てくださっている森岡委員にもお世話になりました。ありがとうございました。どなたも昔を思い出し、微笑みながら話して下さったことが印象深かったです。また、農林課や水産課に協力していただき、愛南ゴール

ド、ウニッコリーなどの特産品の話や最新情報も載せています。

続いて、食育評価アンケートについてです。資料の 39 ページを御覧ください。本町では、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間、第 3 次愛南町食育計画に基づいて食育を進めています。来年度は、第 4 次愛南町食育推進計画策定の年になります。そこで、これまでの活動の成果を評価し、第 4 次計画策定の参考資料とするため、今年度、町民の食生活に関するアンケート調査を実施しています。このアンケート調査は、国や県の食育推進計画の指標を参考に、また、関係機関と協議しながら町独自の指標を評価できる項目になっています。調査時期は、令和 5 年 6 月 26 日から 7 月 14 日までです。対象は、幼稚園、保育園の年長児、小学 2 年生、4 年生、6 年生と中学 2 年生と南宇和高校の 2 年生です。一般として、幼稚園、保育所の年長、小学 4 年生、中学 2 年生、高校 2 年生の保護者と町内の老人クラブの会員で、それぞれに協力をいただき実施しました。今日、来てくださっている委員さんや関係機関で協力してくださった方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます。調査諮問は、資料 40 ページから 52 ページに載せています。全世代で「ぎょしょく教室に参加したことがありますか」を新たに加えました。資料 46 ページの一般用を御覧ください。「(問 19)「食品ロス」という問題を知っていますか?」と「(問 20)「食品ロス」を軽減するために実践していることはありますか?」と「(問 25)「普段、米や野菜、肉や魚などの農水産物(加工品含む)について、なるべく愛南町のものを買うようにしていますか?」と「(問 29)「地域や所属コミュニティ(職場等を含む。)での食事会等の機会があれば参加したいと思いませんか?」を新設しました。高齢者用の諮問内容も同様です。配布数、回収数については、資料 39 ページの「5.」に書いてあるとおりで、全体の回収率は 84%です。回収したアンケートは現在、調査集計分析を請け負っている会社に提出しており、9 月上旬にはデーター入力を終え、その後、集計分析及び報告書の作成、編集等を経て、1 月末に調査報告書の完成を予定しています。以上で事務局からの報告を終わります。

浅海委員

はい、ありがとうございました。事務局から説明をいただきました。田中委員からこれらに関する御助言がありましたらお願いします。

田中委員	<p>郷土料理のレシピ集というのは、非常に大変だったと思います。レシピ集は、皆さん簡単にできると思われる方が多いかと思いますが、郷土料理は口伝えが多く、きちっと再現することは本当に大変です。他の郷土料理レシピ集を見ても適宜ばかりで、どのような味が分からないということが多いですが、このレシピ集に関しましては適宜というところは本当に適宜ということで、それ以外の味のところはきちりと数字を示しているのが非常に有り難いと思います。是非、ホームページ等で掲載していただくと県外の方とかも参考にされて、すごくいいと思います。食育推進大会の方は継続していただきたいと思います。愛南町の食育は非常にすばらしいなと思います。資料の56ページに若林先生の「食育競争論」があります。私も大学の授業でテキストとして使わせていただいています。この中にぎょしょく教育が書かれており、受講した学生が愛南町に興味をもって調べてくれたり、愛南町出身の学生からは、「自分が実際、松山の方に出てみて、いろいろな教育を受けて育ってきたと分かり、今、誇りに思う」という感想を寄せられています。</p>
浅海会長	<p>岡本委員、これらに関しての御助言がありましたらお願いします。</p>
岡本委員	<p>私もこのレシピ集、非常に分かりやすく書かれてあるので非常に感銘を受けています。特に①にある菜飯で、これは最近の子供たちもあまり野菜を食べない、食べれない子が多いので、それを克服するためにもこの菜飯の存在は良いと思います。野菜をよく食べよう、また無駄なく食べようというところで、非常に良いと思います。個人的に、じゃこ天は自分でも繰り返し開発をしました。改めてじゃこ天の材料や作り方を整理して、家庭でも作ってもらいたいと思います。じゃこ天を聞いたことはあるけれど食べたことがないという松山市民が結構多いです。このレシピは有り難いと思います。③のうつぼの煮つけについて、私は非常にうつぼが好きで、わざわざ高知まで行って食べたりしました。松山市では食べられないです。今度は作ってみたいです。食育アンケートは、非常に密に丁寧に作っています。また小学生向けのアンケートにおいては、ルビを付けているところが良いと思います。ちなみにルビというのは宝石のルビにちなんで付けています。アンケートの結果がでたら分析していきたいので、よろしくお願いします。</p>

浅海会長	<p>間々田委員、これらに関しての御助言がありましたらお願いします。</p>
間々田委員	<p>レシピ集については、先ほど田中先生から砂糖の使用量の話がありましたが、醤油の塩分量や砂糖量について、見やすくなるような量があると作るときに作りやすいなと思います。なおかつ、砂糖と醤油の割合があると、これくらいでこの味付けになる、体感で分かると料理するときにイメージが付きやすい、また、最近よく言われる炭水化物の量といった数値的などころがあると良いなど、食育アンケートについてはいろいろ考えるところがありますが、どこまで集計分析をされているかです。クロス集計を使って二つの項目の傾向を見ると、例えばメタボリックシンドロームに対して、活動支援等食育に関心のある人がどのような傾向が見られるとかです。いろいろと検討いただくとよりこのアンケート調査の意義も高まります。</p>
浅海委員	<p>若林委員、これらに関しての御助言がありましたらお願いします。</p>
若林委員	<p>では、順番に申し上げます。食育推進大会について、資料 28 ページと 29 ページで自由記載にいろいろな発想を書いています。これは、次にするときに考える基となります。今後は協働部会等で考えてもらいたいです。29 ページで小学校の先生から「アプリを本教員がどれくらい認知しているか心配になった」の箇所、これは何のアプリですか。</p>
清水課長補佐	<p>アプリでいろいろな取組をしています。大会では水産課職員がアプリを使っての取組を発表しました。</p>
若林委員	<p>委員の中でぎょしょく関係のアプリがあるということをお存じの方いらっしゃいますか。産業部会の水産課等で徹底をお願いしたいと思います。それから、資料 29 ページの「子どもの発表がほしいです」については、検討していただきたいです。それから「山の料理ももう少し紹介していただきたい」について、愛南町の山の料理は何でしょうか。林産物を使った料理はありますか。山と海に囲まれている愛南町なので、シンボルマークもそうですし、山に関わる、林産物に関わる食育は何もやっていないと思います。農産物水産物は十分取り組んでいるけれど、今議論</p>

しようという話ではないけれど、何かの機会あれば話してはどうでしょうか。総じて言えば、食育推進大会は、旧の一本松町の時代からきちっとやってきたことです。もう13回も続いているということはすごいと思います。もし良ければポスターを並べてみてはどうでしょうか。それからレシピ集について、これも協働部会の方でいろいろ議論があって、どうなのか、できるかなあと、正直楽しみにしていました。事前に事務局から送っていただき、見ましたが、完成度が高いと思いました。資料については向かって右側で、例えば菜めしのところでいけば、読みごたえがあるが情報が多いです。この情報を今後どのように使うかです。基本的に全世代対応型、要するにお子様から高齢者の皆様まで、愛南町の町民の皆さん全員に行き渡るようにいろいろ工夫する、ホームページやケーブルテレビなど活用したり、紙媒体も含めて発信する、レシピ集の内容を見ると食育推進のためのいろいろな戦略が練れる良いレシピ集ができたと思います。レシピ集を作ったのは今回が初めてではなく、今回のものはグレードが高いので、いろいろな使い方をしようと思いました。加えて、これ郷土料理バージョンなので、次のバージョンとして、例えばこれからの少子高齢化の状況を考えて、高齢者向けや栄養編など、今回のレシピ集はその1くらいのイメージで考えてはどうでしょうか。協働部会で考えてください。食育アンケートについては、これは第4次の食育推進計画のためのアンケートです。アンケートは第1回目から第4回目になります。項目では変えている部分、あるいはマイナーチェンジや100%追加した部分、それと部分修正した部分と、初期の頃からほぼ変わっていない部分もあります。必要なところは経年評価で、県の食育計画の第1次から第4次までを追跡をして進めていくと非常に説得的なデータが得られるので、期待したいと思います。このアンケートは質問項目が多ですが、真面目な愛南町民の皆さんですのでいつも回答率が高いし、ほとんど漏れなく回答しているものが多いです。良いデータが得られると第4次の計画が町民の実態実情に合った、また、町民の意向にあった策定ができると思います。協働部会を中心に今年の後半から来年に向けてこの第4次の計画策定をすることになりますので、地域の皆さん関係団体の皆様にはお力添えをいただくことになると思います。その際はよろしくお願いします。以上です。

浅海委員

ありがとうございました。委員の皆様で、御意見はございま

<p>岡本委員</p>	<p>せんか。</p> <p>追加です。先ほど間々田先生からもありましたアンケートの解析方法です。記述式の問いですが、文章だけ見るのではなくそのキーワードとしてみる、いわゆるテキストマイニングというフリーソフトがあり、テキストマイニングの中にこれらの感想を全部入力することにより、キーワードの頻度、出てくる頻度が高いものほど大きな字で出てくる、名詞、動詞、形容詞が色分けされて出てくるなど、そういう便利な方法がありますので、是非それで処理していただけると、図式化された図を見ることにより皆さんがどう思っているかが一発で分かります。是非検討してはどうでしょうか。</p>
<p>若林委員</p>	<p>業者委託したところで、自由記述の部分は書き出しをしてもらうところまではしてもらいます。このところ、どうなっているのですか。</p>
<p>清水課長補佐</p>	<p>これについては、制限はあると思いますが、業者に提案します。</p>
<p>若林委員</p>	<p>自由記述の部分は大事なので、そういった部分も拾い上げ、計画策定に当たりそれをうまく入れ込むと説得的な説明ができます。</p>
<p>浅海委員</p>	<p>そのほかに何かありませんか。</p>
<p>児島委員</p>	<p>先ほど朝食の欠食の話が出ました。資料8ページの令和4年度の産業分野の取組で地元食材の提案、南宇和農協による取扱い可能な食材リストをいただいています。学校給食の地元食材の自給率は、本町は決して低くはないのですが、柑橘類と水産物の生産量を除けば、自給率はすごく低いです。それは野菜作りが主軸でない産業形態なので仕方ないです。そういうような中で、この情報提供は給食センターにとって大変貴重なものになっており、できれば今後もこれを続けていただきたいと思いました。</p>
<p>浅海会長</p>	<p>その他、皆さんの御意見はありませんか。それではその他について、事務局から説明をお願いします。</p>

清水課長補佐

はい。では、最後にその他についてお伝えします。資料 53 ページを御覧ください。食育アカデミーについてです。広報あいなんの中に食育アカデミーのコーナーを設け、毎月、食育の活動紹介や啓発を行っています。このページには、昨年度の担当部会と記事内容です。54 ページは、令和 4 年度 3 月号で、南宇和高等学校農業科の甘夏収穫・選果(せんか)の活動や農業支援センターの取組として子供の頃から野菜に興味を持つように保育園での野菜の植え付け体験の様子を紹介しています。55 ページは今年度の担当と記事内容を載せています。なお、1 月号か 3 月号には食育アドバイザーの大学の先生方に執筆を依頼しようと考えています。56 ページを御覧ください。愛南町の食育推進協議会及び食育協働部会の委員であり、又、食育推進のアドバイザーでもある若林先生が執筆した「食育共創論―地域密着と世代重視の実践から食の未来を拓く」が愛媛出版文化賞奨励賞を受賞されました。若林先生には、引き続き愛南町の食育実践の御指導をお願いしたいと思います。

私は食生活改善推進協議会、略して食改の担当をしています。食改は、理事を中心に熱心に活動をしていただき、とても有り難く思っています。今年度は公民館と協働で何かできたらと公民館にお声掛けをし、7 月 31 日に一本松公民館と食改一本松支部とで「夏休み学童調理体験」を、8 月 6 日には平城公民館と食改御荘支部が「おやこの食育教室」を行いました。食改の担当者と公民館職員が打合せを重ね、実施し、充実した教室ができたとのことです。協働することで、それぞれから情報を発信できます。これからも他機関とできそうなことを考え進めていけたらと思います。食改については青年期、壮年期の会員がほとんどなく、後継者問題が挙がっています。働きながら活動できるような新たな仕方も取り入れ、また、啓発方法も工夫しながら推進活動を繋げたいと思います。

最後になります。食育推進体制として、食育推進協議会の専門部会に食育協働部会があります。この協働部会全体会の会議の中で、また、協働部会委員と個別に関わる中で情報を共有しながら、それぞれと話し合いながらより良い食育を目指していきたいと思えます。以上で事務局からの報告を終わります。

浅海会長

食育全般について御意見、御質問などはございませんか。アドバイザーの先生方、何かありましたらお願いします。

御意見等ないようですので、各委員さんからいただいた御意

<p>木原副町長</p> <p>中川課長</p>	<p>見、御提案を各部会員にも共有していただき、協働部会等での活動に繋げていただきたいと思います。</p> <p>浅海会長ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様、熱心な御協議ありがとうございました。</p> <p>閉会に当たり、副会長の木原が御挨拶申し上げます。</p> <p>(閉会の挨拶)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして令和5年度愛南町食育推進協議会を閉会します。</p>
--------------------------	---